

まんぼう すくすくだより

1月

あけましておめでとうございます。どんなお正月をお過ごしになったでしょうか。お家でゆっくりしたり、帰省やお出かけをしたりと、子どもたちもいつもと違う時間を楽しんだことと思います。

長い休み明けの登園が始まると、環境の変化で泣いてしまったり、甘えなくなったりする姿もあるかもしれませんが、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、ゆっくり園生活のリズムを取り戻していけるようにしていきたいと思ひます。

今年度も残り3か月となりましたが、今年もよろしくお願ひいたします。



日	曜	行事
1	木	元旦
5	月	保育始め
13	火	体操教室
20	火	避難訓練(消防車両来園)
21	水	体操教室
22	木	身体測定
27	火	避難訓練(消防車両来園) 予備日



午年はどんな年？



午年は「馬」の象徴で「躍動」「発展」「情熱」を意味し、特に「丙午（ひのえうま）」は十干の「丙（太陽の火）」と十二支の「午（真夏の火）」が重なり、太陽のような強いエネルギーと勢いに満ちた年で、大きな飛躍のチャンスですが、感情的になりすぎずバランスが大切。ただし、日本では「丙午生まれの女性は気性が激しい」という迷信も存在します。



正月あそびの意味



<こま回し>

昔から「物事がよく回るように」「一年が順調に進むように」という願ひが込められています。乳児にとっては、手首のひねり、手指の力加減、回るものへの興味など運動発達や感覚の育ちにつながります。

<福笑い>



「笑う門には福来る」というように、笑うことで福が来るという意味があります。乳児にとっては、顔のパーツに興味を持つ、置く・貼るなどの手先の動作、大人と「笑顔を共有する」経験が育ちやすい遊びです。



<凧揚げ>

空に向かって凧が上がるのは「運気が上がる」「成長する」という願ひが込められています。乳児には、本格的な凧揚げは難しいため、ビニール凧、持って走るだけで揺れる簡単凧がおすすめ。走る・風を感じる経験は、体力作りにもつながります。

<羽根つき>

「厄除け」の意味があり、羽根を落とすと顔に墨をつけられる遊びから「悪いものを追い払う」という由来があります。乳児では、風船遊び、小さなボールの打ち返しなど、羽根つきの要素を取り入れた「やり取り遊び」に発展しやすいです。

<お知らせ>

※今後の予定

3月4日(水)《お別れ遠足》

JR南伊予駅前にある、『ふれあい広場』に電車に乗って行く予定です。子どもたちと保育士だけで、出かけますが、お弁当の準備をお願いいたします。詳細は、後日お知らせします。

3月24日(火)《卒園式・修了式》

まんぼう組のお友だちとお別れの式をします。まんぼう組の保護者の方は、ご参加予定をお願いします。同日、そら組・うみ組のお友だちは、修了式を行います。保護者の方の出席はありません。こちらも、後日、詳細をお知らせします。

※12月のご意見・苦情は、0件でした。



おもちのきもち

作：かがくい ひろし 出版社：講談社

お正月になれば、床の間に鎮座します「かがみもち」。堂々として立派なものです。でも、なんだか浮かない顔をしているみたい。「かがみもち」にも悩みがあるのでしょうか。…それが、あるみたいですよ！

十二支のかぞえうた



作・絵：さいとう のぶ 出版社：佼成出版社

「1月1日、1じに ねずみが餅食べた いくつたべた？」 「2月2日…」 ページをめくると十二支の動物が順番に登場します。食べ物もとっても美味しそうに描かれていて、楽しみどころは満載！ ちょっとユニークな干支の絵本です。